

# 小学校 2年 生活科

考える  
表す

話す・聞く  
書く

育成したい  
国語力

分からないこと、尋ねたいことを意識しながら聞く。  
分かったこと、分からないことを区別しながら書く。

## 単元名

# 「町をたんけんしよう」

## 本時の目標

グループで計画を立てて町に出かけ、新しい発見をしたり、分からないことを尋ねて分かるようになったりする喜びを味わいながら、町の探検をすることができる。  
<活動や体験についての思考・表現>

## 国語力育成の視点

生活科においては、児童の思いや願いが連続する活動を構想することが大切です。また、そうした活動や体験の中で生まれる知的な気づきを大切に育てていくことが求められています。  
自分の気づきを話したり、書いたりすることで確かな気づき(考える力)が育っていきます。  
意欲的に書いたり、話したりする環境や、それを認め合う環境を準備することが大切です。

## 前時

町たんけん  
グループで計画を立てて町に出かけ、新しい発見をしたり、分からなくて知りたいことを見付けたりする。

## 視点①

「新しい発見」について、どのようにして発見したのか時間的な順序、語と語、文と文とのつながり方を意識させながら表現させます。  
「分からなくて知りたいこと」については、実際に尋ねる活動をするまでに、答えを予想させるなど自分の考えをもたせませす。相手を思い浮かべて進んで書いたり、予想したりできるような教材の工夫が大切です。

## 本時の展開

### めあて：町たんけんで見つけたことをまとめよう。

前時の町探検で気付いたことを「新しい発見」と「分からなくて知りたいこと」に分ける。・・・児童の考えを整理する。

「新しい発見」と「分からなくて知りたいこと」を知らせ合う。

「分からなくて知りたいこと」について、自分で予想をしてみたり、グループの人の考えを聞いたりする。  
\*自分の考えと友達の考えをつないで考えることが大切です。

「分からなくて知りたいこと」について、明らかにするためには誰に、どのようなことを尋ねたらよいかを考え、文に書いて整理する。  
\*はがきやカード形式にするなど楽しく書ける工夫が必要です。

グループの中で、2度目の探検に向けて計画を立てる。

## 視点②

尋ねたことを聞き取るとき、聞き取った内容をそのまま記録することは難しいです。大切な言葉や絵を簡単にメモしたり、視聴覚機器を活用したりすると学校に帰ってからの振り返りに役立ちます。

## 次時

町たんけん  
計画を立てた通り目的地に行き、「分からなくて知りたいこと」について尋ねる。

## 児童の作品

### たんけんカード

2年 くみ 名前( )

<たんけん>  
スーパーにたんけんにいきました。おちゃやジュースのたながありました。おきゃくさんがたなからおちゃを1本とって、買いました。すると、うしろに立ってあったおちゃが前に出てきました。「なぜかな」とふしぎでした。  
<新しいはっけん>  
たなのおちゃが前に出てきた。  
<知りたいこと>  
なぜおちゃが、前に出てきたか。

### たんけんカード

2年 くみ 名前( )

<たんけん>  
としょかんにたんけんに行きました。たくさん本がありました。ぜんぶでなんさつあるのかな。1日にどれくらいの人が本をかりるのかな。わたしもとしょかんで本をかりたいです。  
<新しいはっけん>  
たくさん本がありました。  
<知りたいこと>  
ぜんぶでなんさつあるのかな。  
1日にどれくらいの人が本をかりるのかな。

### しつもんカード

2年 くみ 名前( )

花や さんへ  
きのうたんけんについて花やさんの前をとおりました。とってもきれいな花がありました。ゆりの花でした。お店の人は、ゆりの花の中の糸のようなものを切っていました。切らなくてもきれいなのに、ふしぎです。どうしてなのをおしえてください。

### しつもんカード

さんへ

2年 くみ 名前( )

こうえんにたんけんに行きました。おばあさんやおじいさんが、おちているゴミをひろっていました。とてもたくさんゴミがありました。ぼくもこんど、ともだちとゴミをひろいたいです。  
おばあさんたちは、だれかにたのまれてゴミをひろっているのですか。おしえてください。